

本検討会議の開催趣旨等について

会議開催の経緯・趣旨について

- 北海道新幹線の札幌延伸に伴って生じる鉄道貨物輸送（海線（函館線 函館～長万部間））に係る諸課題等について、令和4年11月より、関係4者（国土交通省、北海道庁、JR貨物、JR北海道）の実務者レベルで情報共有等を行うため、「情報連絡会」を開催。
- 令和5年7月、これまでの「情報連絡会」における議論をもとに、「論点整理」を公表。
- これを受け、令和5年8月以降、産業団体や地域の関係者との意見交換を実施。
- 諸課題の解決について一定の目途を立てるためには、様々な関係者から改めて丁寧にご意見を伺うとともに、有識者を含めた更なる慎重な検討が必要。
このため、今般、「北海道新幹線札幌延伸に伴う鉄道物流のあり方に関する有識者検討会議」を立ち上げ、北海道新幹線並行在来線対策協議会渡島ブロック会議における地域交通の確保策に係る検討と並行して、令和7年度中を目途に最終的な結論が得られるよう、個別の課題の解決方策について検討を進めていく。

会議の運営について

- 構成員は、学識経験者、関係団体、鉄道事業者、オブザーバー（関係行政機関）とし、国土交通省及び北海道庁が事務局を務める。
- 会議は札幌を中心に開催し、オンライン会議も併用。
- 会議は原則非公開とし、会議後に国土交通省・北海道庁のホームページに会議資料及び議事概要を掲載。

※ 会議の設置要領（案）については別添のとおり。